

感染症発生動向調査事業におけるウイルス検査

【微生物科】

結核・感染症サーベイランス事業の22対象疾病について県内10検査定点から採取した検体についてウイルス分離した。

検体受け入れ状況を表1に示した。検体数の多い順に無菌性髄膜炎1058検体、インフルエンザ様疾患521検体、感染性胃腸炎359検体である。

分離状況は表2に示した。検体2610検体1892名中ウイルス分離陽性となったのは680名(35.9%)で、分離ウイルスの種類は23種類であった。以下本年度特徴的なものについて述べる。

1 エコー30型ウイルス：無菌性髄膜炎患者266名から分離された。ヘルパンギーナ、感染性胃腸炎、手足口病などからも検出されている。

2 手足口病からはエンテロ71型とコクサッキーA10型、4型、16型ウイルスが関与した。エンテロ71型ウイルスは全国的に見て他県より遅い流行

のはじまりとなった。

3 ヘルパンギーナからはコクサッキーA群12型、10型、コクサッキーB群3型、エコー17型など多種類のウイルスが関与した。

1 感染性胃腸炎、乳児嘔吐下痢症からA群ロタウイルスが検出された。流行は11月から始まり3月をピークに6月まで検出されている。またC群ロタウイルス1株が4月に検出された。

アデノ40/41型ウイルスが0～1歳の胃腸炎患者から検出された。季節性はみられない。

5 アデノ7型ウイルスは咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、咽頭炎などから5株検出され、少数ながら毎年検出されている。

7 1998/99シーズンのインフルエンザウイルスの流行型はA香港型、B型ウイルスでB型ウイルスは5月上旬まで検出された。

表1 疾病別検体採取状況(1998年度)

1998.4~1999.3

臨床診断名 (疑いを含む)	1998年										1999年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
麻疹様疾患		2 2	1 1			1 1							4 4	
風疹		2 2	3 3	1 1				1 1	1 1			2 2	10 10	
水痘		2 2	2 2				1 1	1 1	1 1		1 1	3 2	11 10	
流行性 耳下腺炎	9 6	4 4	8 7	11 10	8 8	7 7	6 6	9 9	23 19	1 1	5 5	1 1	92 83	
百日咳様疾患													0 0	
溶連菌感染症	1 1	2 2			1 1			1 1					5 5	
異型肺炎													0 0	
感染性胃腸炎	51 44	18 16	27 21	14 8	52 45	24 21	10 8	18 17	34 28	34 28	30 26	47 38	359 298	
乳児嘔吐 下痢症	31 24	6 4	4 3	1 1	5 3				9 6	12 9	7 6	31 21	106 77	
手足口病	16 16	26 23	39 31	15 15	9 9	5 5	4 4	5 5	8 8			1 1	128 117	
伝染性紅斑			2 2		2 2		1 1			1 1		2 2	8 8	
突発性発疹								5 4					5 4	
ヘルパンギーナ		5 5	25 23	28 27	31 31	16 16	14 14	12 12	16 16	1 1	1 1		149 146	
インフルエンザ 様疾患	1 1	1 1							11 9	144(16) 140(16)	216 209	148 139	521(16) 499(16)	
M C L S (川崎病)	2 2	2 2	2 2						7 3	1 1	2 1	2 2	18 13	
咽頭結膜熱	4 4	6 5	5 5	12 11	52 26	25 16	4 4	5 3	4 4		1 1		118 79	
流行性 角結膜炎	1 1	1 1		1 1									3 3	
急性出血性 結膜炎													0 0	
無菌性髄膜炎	16 11	73 36	226 112	322 140	211 111	93 52	39 19	21 11	28 14	16 10	7 3	6 6	1,058 525	
脳・脊髄炎			2 1	2 1						9 7		1 1	14 10	
性器ヘルペス												1 1	1 1	
尖圭 コンジローム													0 0	
計	132 110	150 105	346 213	407 215	371 236	171 118	79 57	78 64	142 109	219(16) 196(16)	270 253	245 216	2,610(16) 1,892(16)	

(注) (1) 上段は検体数、下段は患者数を示す。

(2) () は集団発生を示す。

表2 疾病別ウイルス分離状況 (1998年度)

1998.4~1999.3

臨床診断名 (疑いを含む)	ウ イ ル ス の 種 類																			計				
	ア デ ノ 1 型	ア デ ノ 2 型	ア デ ノ 3 型	ア デ ノ 5 型	ア デ ノ 7 型	ア デ ノ 40 / 41 型	イン フル エン ザ A 香 港 型	イン フル エン ザ B 型	エ コ 1 1 型	エ コ 1 17 型	エ コ 1 30 型	エン テ ロ 71 型	コ ク サ ッ キ ー A 4 型	コ ク サ ッ キ ー A 10 型	コ ク サ ッ キ ー A 12 型	コ ク サ ッ キ ー B 2 型	コ ク サ ッ キ ー B 3 型	ム ン プ ス	ヘル ペ ス 1 型		ポ リ オ 3 型	ロ タ タ	C 群 ロ タ	
麻疹様疾患																							0 0	
風 疹																							0 0	
水 痘																							0 0	
流行性 性腺炎																		1 1	12 12				13 13	
百日咳様 疾患																							0 0	
溶連菌 感染症																							0 0	
異型肺炎																							0 0	
感染性 性腸炎					2 1	9 8	3 3	1 1		4 2								4 4				57 57	1 1	81 77
乳児嘔吐 下痢症						2 2		1 1														51 51		54 54
手足口病										5 5	13 13	1 1	2 2		6 6				1 1			1 1		29 29
伝染性紅斑							2 2												1 1					3 3
突発性発疹																								0 0
ヘルパンギーナ	2 2	1 1	1 1	1 1						4 4	6 4	1 1		11 11	10 10			2 2		1 1			40 38	
インフルエンザ 様疾患		1 1					31 30	134 134												2 2			168 167	
M C L S (川崎病)																								0 0
咽頭結膜熱		1 1	16 15		1 1													1 1				1 1		20 19
流行性 性角結膜炎			1 1																					1 1
急性出血性 性結膜炎																								0 0
無菌性 性髄膜炎			1 1					2 2	2 2	445 266	1 1				1 1	5 5		1 1					458 279	
脳・脊髄炎																								0 0
性器 ヘルペス																								0 0
尖圭 コンジローム																								0 0
計	2 2	3 3	19 18	1 1	3 2	11 10	31 30	142 142	3 3	4 4	460 277	15 15	1 1	13 13	10 10	6 6	1 1	13 13	12 12	6 6	1 1	109 109	1 1	867 680